

AICHI GAKUIN UNIVERSITY NEWSLETTER



AG PRESS

大学だより

2021

6

新年度挨拶 / シューカツの現場から「コロナ禍の就職活動」

vol.218

〔特集〕

大学のつくり方

アイガク部署研究〈総務課編〉

location: 100周年記念講堂(日進キャンパス)



巻頭言

新年度挨拶



「行学一体・報恩感謝」の 精神で総合的な人間教育を

愛知学院大学 学長

愛知学院大学短期大学部 学長

引田 弘道

感謝の心を忘れず、
より良い社会の実現に
尽力できる人に。

ご入学おめでとうございます。学部・短期大学部2609名、大学院63名の新生の皆さんを教職員一同心より迎えします。新型コロナウイルス感染症はまだその勢力を弱めることなく、猛威を振るい、収束の兆しさえ見えない状況です。昨年度は、本学も感染予防のため、人数を制限した対面授業と遠隔授業とを組み合わせたハイブリッドな形態をとらざるを得ませんでした。ただ、現在、日本は急速に情報化社会へと変化していております。大学教育もこの動きに対応すべく、従来型の教育から対面型に情報機器を組み合わせた新しい教

育体制へと移行していく方針であります。

愛知学院大学は明治9年に、名古屋市中区門前町に曹洞宗専門学支校として始まり、大学としては昭和28年の開学になりました。当初は商学部だけでしたが、時代の要請に応じて順次学部を増設していき、現在では、9学部、16学科、大学院に9研究科、さらに短期大学部を配した、学生総数12000名という総合大学へと発展してまいりました。

愛知学院大学は禅を主とする曹洞宗によって創設された仏教系の大学です。建学の精神は「行学一体・報恩感謝」。本学は知識・技術の習得という学びと、人格の高揚に努めるという行とを一体とし、周囲への感謝を忘れず、共により良い社会の実現に尽力できる「総合的な人間教育」に取り組んでいます。

令和2年秋、愛知学院大学に「中部圏SDGs広域プラットフォーム事務局」が設置されたのを機会に、SDGs、すなわち「持続可能な開発目標」に積極的に取り組むことを宣言いたしました。SDGsは世界共通の目標として、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17の持続可能な開発目標と169のターゲットが設定され、いずれも2030年までの達成を目指すものです。「SDGs未来都市」として選定された愛知県と歩調を合わせながら、本学も産業界・官公庁・他大学と協働して、どうすれば環境に負荷をかけることなく、全ての人が活躍しながら、産業の革新・創造を実現していくかを授業であるいは課外活動で積極的に考え、取り組んでいく所存です。本学での学びを通して、皆さんが成長されることを楽しみにしております。



感謝と慈しみの心を持つ
人になるよう期待。

学校法人愛知学院
理事長

中村 見自

自分の歩むべき道を
しっかりと見つけ出し、
人生の礎となる
時を過ごして欲しい。

愛知学院大学新入生の皆さんのご入
学を衷心よりお慶び申し上げます。
昨年から世界中で猛威を振るっている

新型コロナウイルス感染症の影響により、
大学の状況も目まぐるしく変化しており
ます。平生から「諸行無常」は、頭では理
解していることですが、このような予測不
可能なことが起こるたび、無常であるから
こそ、今ここを生かし、明日を迎えなけれ
ばならない、ということに改めて感ずるも
のであります。

新入生の皆さんも希望と不安に満ちた
日々を過ごされているかと思えます。しか
し、皆さんはこの貴重な時間を本校で送
るのですから、しっかりと自分の歩むべき

道を見つけ出し、人生の礎となるような
時を過ごしていただきたいと希望いたしま
す。私どもは、そのための環境を教職員一
丸となつて精一杯整えたいと存じます。

また、我が校の教育理念は創立以来一
貫して「行学一体・報恩感謝」の精神であ
ります。単に知識を得るだけではなく、
数々の実践を通し、社会人として感謝や
慈しみの心を持つ人間となるよう、大い
に期待しております。

この未曾有の災厄は、私たちの今まで
の生活を、また社会のシステムを劇的に
変化させることでしよう。

その時にあたって、現在の足元を見極
め、この難局を人類がどのように乗り越
えていくのか参究されることを望みます。

本学院の建学の精神である「行学一
体」「報恩感謝」は、その導き手となるこ
とでしよう。

改めて学生諸君の一大奮起を期待
いたします。



安心で充実した
学生生活を叶えるため、
保護者目線で
サポートしていきます。

愛知学院大学後援会会長
伊藤 貴志

ご入学おめでとうございます。
ここ愛知学院大学は創立146年と
いう長い歴史を重ねた伝統ある大学で
す。学生の皆さんには「行学一体・報恩感
謝」の理念のもと学業と共に自分の可
能性に挑戦し、協働の場において主体的
に活躍できる人に成長して頂きたいと
思っております。

昨今、新型コロナウイルスによる混乱
の中、社会全体が今までにない出来事に
対応する必要に迫られています。後援会
も保護者代表として、教員・事務局の皆
様方と共に、学生の皆さんが少しでも安
心で充実した大学生活が送れるよう
う、親の目線で努力して参ります。

最重要事業として、秋には保護者相
談会を予定。保護者の皆様の貴重なご
意見、成績、学生生活、就職などに関す
るご質問を大学側に直接伝える機会で
す。ぜひご参加ください。

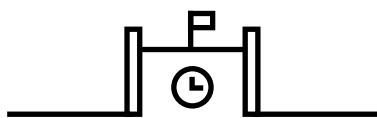
ほかにも「大学だより」の発行、成績
表発送、大学公認クラブへの活動費助
成、教育施設、厚生施設などに對する助
成、さらには就職斡旋、学生健康診断な

ど、多岐に渡る取り組みを通し、学生の
皆さんがより良い環境で大学生活を送
れるように日々活動しております。
今後も、より一層の支援をさせていただ
きますので、ご理解とご協力をよろし
くお願いいたします。

2021年度 大学後援会本部役員 (敬称略)

会長	伊藤 貴志
副会長	上村 誠一郎
総務部長	伊藤 浩治
支部活動部長	長谷川 裕一
総務部長	宮脇 利明
厚生部長	鈴木 理元
施設部長	柴田 敬介
教育部長	山本 邦夫
課外活動部長	中村 康成
会計	福田 剛年
会計監査	飯田 展弘
〃	品田 浩之
〃	浅角 一彦
〃	竹内 浩司
〃	阿部 恵彦

2021年度後援会総会は書面決議にて、
全ての審議事項が承認されました。本部
役員は以下の通りとなります。



大学の つくり方

アイガク部署研究

あまり知られていない大学のバックヤード。
見えないところで学生支援に奮闘する各部署の
役割と職員の仕事を紐解きます。

特集

AG vol.22
REPORT

#01
総務課編

大学のことを一番よく知っている。それが、私たち総務課スタッフだと思います。学内行事の運営や施設の管理に関わったり、先生方をサポートしたり、後援会支援のお手伝いを通して保護者の方と繋がったり。キャンパスで何か起こったら真っ先に駆けつけて対処するのも私たちです。安全で快適な大学運営、学生生活を支えるために、見えないところでさまざまな業務に携わっています。学生たちと直接関わる機会は少ないですが、裏方として支えています。やりがいを感じるのは、入学式・学位記授与式などの式典、後援会総会、保護者相談会など重要なイベントが無事に終了した時。何日も前から準備した会が成功し、参加者が満足して帰っていく様子を見ると嬉しいです。私も本学の卒業生なんです。後輩である学生たちが4年間、気持ちよく学生生活を送り、しっかり学んで卒業できるよう、陰ながらサポートしたいと思っています。



• INTERVIEW

総務課 | 鬼頭 慶光さん

趣味 風景写真を撮ること

モットー 備えあれば憂いなし

WHAT'S ?

総務課

ってこんな部署

学内施設の管理や行事の準備から、教職員サポート、窓口での学生対応、後援会を通した保護者サポートのほか、学内環境整備など実にさまざま。現在、総務課に所属するスタッフは派遣職員も含めて9人。互いに連携し補い合って多様な業務に取り組んでいます。



窓口で学生対応をすることも。例えば、クラブ活動のための教室貸出の手配や遠征のためのバス貸出の受付業務などで課外活動をサポートします。



清掃業者の手配、落ちているゴミや吸い殻の掃除、時には蜂の巣駆除を自分たちで手がけるなど、さまざまな側面から学内美化に取り組みます。

私たちが
サポートします



学部長会議に関する事務、学会の会計処理、大学宛文書の仕分け・回覧、駐車場利用のための自動車登録など、教員サポートも大切な業務です。

後援会 サポート

保護者の皆さんで組織される後援会サポートも総務課の役割。後援会での諸行事の準備・運営のほか、就職活動やクラブ活動へのサポートだけでなく、大学の施設充実のための助成など、保護者の皆さんから頂いた後援会費が、学生生活を充実させる一助となる活用を目指しています。



近藤 健一さん

後援会サポートは大学と保護者をつなぐこと。後援会からのご要望やご提案をお聞きし、大学の改善に役立てます。

保護者相談会の運営

各キャンパス会場の準備のほか、地方会場の手配、資料の発送、現地に向く教職員の出張手配などをおこないます。昨年度は動画配信やウェブ会議システムも取り入れました。



各部署と連携し、よりスムーズな運営、満足度の高い保護者相談会をめざします。

INFORMATION

2021年度 保護者相談会のお知らせ

今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により変更になることがあります。

10/9 (土) 日進キャンパス

10/10 (日) 楠元キャンパス

10/17 (日) 名城公園キャンパス

9/18 (土) ~ 10/17 (日)

全国21会場で開催



詳細はWEBで

学業、学生生活、就職など、学生が直面するさまざまなことを教職員に直接相談できる機会です。ぜひご参加ください。

お子さまに関するご相談がある場合、まずは総務課にお問い合わせください。関連部署と連携し、解決へと導きます。

保護者 サポート



山本 裕章さん

普段は、学びの環境やキャンパスでの学生の様子を間近で見ることのない保護者の方に向けて情報提供をおこなうのも、総務課の役割です。今、ご覧の「大学だより」の発行、ポータルサイト「WebCampus」の運営を通して大学の取り組みや最新情報を発信するほか、学生に関する情報共有をサポートします。



PICK UP WORKS

大学運営の中枢部署として、
さまざまな場面で学生や保護者、
また地域の人たちにも
貢献するような取り組みも
おこなっています。

学生 サポート

昨年度はコロナ禍で、海外研修やゼミ合宿が中止になりました。早く事態が収束し、学生たちが活発に活動できる日が戻ることを願います。



入学時に全員が加入する災害共済会の給付金支払いに関する業務のほか、教育実習やゼミ合宿、海外研修など、学外研修時における傷害保険の手続きをすることで、安全・安心な学生生活をサポートします。



鬼頭 慶光さん

学内行事・地域貢献



二祖三仏忌

年に5回開催される「二祖三仏忌」の準備など、建学の精神につながる曹洞宗の行事に関する業務もおこないます。法要の所作が身につくなど勉強になります。

学内の建物貸出

「日進市立中学校記念交流試合」の会場を提供したり、日進市・弥富市と災害協定を結ぶなど、学内施設の貸出業務を通して地域に貢献しています。



入学式・学位記授与式の準備

記念品の手配、学位記の印刷などの事前準備から案内板の設置などの会場設営、動線確認など当日の段取りまで、学内行事の運営に携わります。

大学運営が日々、滞りなく進んでいる裏に私たちは携わっています。その結果、地域などより広い範囲に貢献できることに喜びを感じます。



磯部 智美さん

REPORT

令和2年度
学位記授与式を挙

3月15日(月)、16日(火)、日進キャンパス100周年記念講堂にて、令和2年度学位記授与式を挙行しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、授与式を分散開催(計7回)。大学院70名、大学2351名、短期大学部104名、短期大学部専攻科11名、歯科技工専門学校20名の合計で2556名が本学の学び舎を巣立っていきました。(薬学部・歯学部・短期大学部・歯科技工専門学校は、別日程で挙行)本学での学び、教職員や友人との出会いを財産にし、社会で活躍されることを心よりお祈り申し上げます。ご卒業の皆様、保護者の皆様、このたびは誠におめでとございます。



REPORT

令和3年度
入学式を挙

桜満開の4月1日(木)、2日(金)、令和3年度入学式が日進キャンパス100周年記念講堂にておこなわれ、2609人が本学で新たな一歩を踏み出しました。入学生ならびにご家族の皆様には、心よりお慶び申し上げます。今年度は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、入学式は分散開催(計4回)。参列者は新入生1名につき、保護者1名に限定し、参列できない保護者ご家族ご友人等の皆様、在学生に向けて、式典の模様をインターネットの映像配信サイト「YouTubeライブ」でライブ中継しました。なお、式典の模様はYouTubeで配信しておりますので、ぜひご覧ください。



NEWS

弥富市と「浸水時における
広域避難協定に関する協定」を締結

本学と弥富市が「浸水時における広域避難に関する協定」を締結しました。それにとともに1月29日(金)、日進キャンパスにて協定式を開催。本学より引田弘道学長、弥富市より安藤正明市長など関係者が出席しました。本協定は、弥富市内において風水害による高潮、洪水または地震・津波による浸水が発生もしくは発生するおそれがある場合に、市民の避難が可能となるよう日進キャンパス内の施設を提供することを目的としています。今後は、円滑に受け入れができるよう平時から相互に協力し、訓練などを実施していく予定です。



REPORT

地域の子どもたちに
SDGsへの理解を促す
「AGU CUP 2020」を初開催

2020年12月26日(土)、27日(日)、「AGU CUP 2020」を初開催しました。SDGsの核となるテーマ「誰一人も取り残さない」という概念の学習を目的とした本イベント。スポーツ庁が推進する令和2年度「大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業」の一環として、本学にスポーツ振興室を設置し、実現しました。地域のサッカーチームの子どもたちが、本学サッカー部員のサポートのもとで試合を開催。初対面のメンバーとも励まし合いながらゲームに取り組み中で、仲間との協力のためにどう行動すべきかを体験し、SDGsに興味を持ってくれたようでした。



REPORT

「池上先生と学ぶ
SDGsの現在 in なごや」を
名城公園キャンパスで開催

3月14日(日)、愛知学院大学・なごや環境大学の共催により、ジャーナリストで本学特任教授の池上彰氏とSDGsについて学ぶシンポジウム「池上先生と学ぶSDGsの現在(いま) in なごや」を名城公園キャンパスおよびオンラインで開催しました。池上先生による講演のほか、愛知県や名古屋市、東邦ガス、ブラザー工業といった地元企業によるSDGsの取り組みについてのプレゼンテーションを展開。高校生や大学生など若い世代を中心に、オンラインも含めた約600名の参加者が、SDGsについて具体的に学びました。最後のシンポジウムでは、池上先生をファシリテーターとして、学生・生徒、自治体、企業による活発な意見交換がこなわれました。本学学生を含む学生の登壇者からも多くの質問がなされるなど、次代を担う若者たちにとって、持続可能な社会のあり方を考える良い機会になったようです。



内容

第1部 「池上先生と学ぶSDGsの基本」

池上彰特任教授が高校生、大学生の質問に答えつつ、SDGsの基本についてわかりやすく解説。

第2部 「SDGsの現在 in なごや
一産官民のさまざまな取り組み」

地域の産官民団体がSDGsへの取り組みを紹介。SDGsに対する中部圏の「いま」を具体的に学ぶ。

第3部 「シンポジウム -SDGsの『いま』そして『これから』」

池上先生がファシリテーターとして参加。第2部で取り組みを紹介した5団体に、高校生、大学生が質問。SDGsに取り組む中での企業や自治体の「これから」について、若い世代へメッセージを発信し、SDGsによる地域や社会の変化と未来を、池上先生と一緒に考える。

シューカツの現場から

VOL.21

MESSAGE FROM CAREER CENTER

今回のお題

コロナ禍の就職活動

新型コロナウイルス感染拡大は、学生たちの就職活動にも影響を及ぼしています。もちろん本学でも学生支援を強化。2021卒の就職活動では、状況や目的によって対面とオンラインを組み合わせたきめ細かい対応で一人ひとりをサポートしました。22卒、23卒においても状況を的確に見極めながら、準備と対策を支援しています。

【安心して就職活動に専念できるようにコロナ禍の就職サポート】

SUPPORT

1

業界・企業研究

コロナ禍が長引く中、経営計画にも影響が出て採用基準を見直す企業が増えるなど、選考が厳しくなる傾向は今後も続くと考えられます。そこで大切なのが、情報収集とその分析です。早い時期から主体的に行動して情報を集め業界研究・企業研究につなげることで、余裕を持って企業選びと選考対策を進めることが、これからの就職活動ではより重要になってくるでしょう。本学では、学生たちに必要な情報を確実に届ける就活イベントを早期から開催。オンラインによる学内合同就職セミナー、完全予約制のミニ合同企業セミナー、業界企業研究セミナーなど、三密を避ける工夫をしながら、業界・企業研究につながる情報提供、企業の採用担当者とコンタクトを取る機会の創出をおこなっています。



SUPPORT

2

オンライン面接対策

21卒採用では多くの企業がオンライン面接を導入しました。感染拡大のリスク低減、移動コストのカット、自宅で落ち着いた取り組みなどのメリットがある一方、さまざまな課題も見えてきました。今後は、企業の人事担当者も昨年の経験を踏まえてオンライン面接をおこないながら、学生の対応をより厳しく見極めるはずです。ハード、ソフト両面でしっかり対策しましょう。



ご家族に協力して
いただきたい

オンライン面接のポイント



安定した
通信回線



イヤホン
マイクを用意



生活音が
入らないように

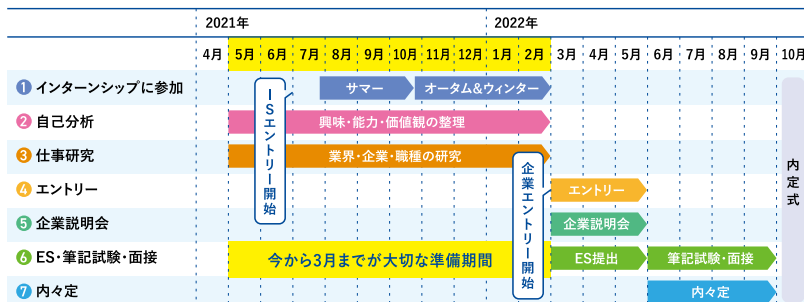


無地の壁など
シンプルな背景

Check!

2022卒 就活スケジュール

社会の動向や就職活動の結果を踏まえ、いつ何をすべきか、どう動くのか、学生はもちろん保護者もしっかり把握し、万全のサポートにつなげてください。



自己分析、業界・企業研究、筆記試験の準備などを前もって計画的に進め、3月から「選考」に向けて動けるようにしましょう。

TOPICS

2021年3月 卒業生データ

希望者就職率 **96.7%**※

$$\left(\text{希望者就職率} = \frac{\text{正社員(公務員)就職者数}}{\text{就職希望者数}} \right)$$

実就職率 **89.7%**※

$$\left(\text{実就職率} = \frac{\text{正社員(公務員)就職者数}}{\text{卒業生数(進学除く)}} \right)$$

年間就職
求人社数 **14,120社**

年間就職
求人者数 **179,047名**

※文系学部のみの数値

日日是好日

vol.1

暮らしに役立つ禅の教え



解説していただく先生



禅研究所 所長 岡島 秀隆先生

愛知学院大学教養部教授、曹洞宗霊松寺住職。主な研究分野は宗教哲学、比較宗教思想、禅仏教。2021年、禅語を読み解く教養書「思考禅のスミエー仏祖の言葉を読んでみよう」（北樹出版）、比較解釈を方法論とする道元思想の研究書「対話哲学としての道元思想」（法蔵館）を上梓。

明治9年、曹洞宗の専門学支校として開設され「行学一体・報恩感謝」を建学の精神に掲げる愛知学院。その教育の元となるのが禅の考え方で。それらはまた、今日に伝えられている数々の「禅語」にも集約されています。そんな禅の言葉を紐解けば、毎日をたくましく生きるヒントになりそうです。

今回のテーマ

我を生む者は父母、 我を成す者は朋友。

「私は父母から生まれてきたに違いないが、本当の私を育ててくれるのは、友人である」。そんな意味を持つこの言葉は、中国・唐代の禅僧、百丈懷海によるもの。弟子の雲巖に対し、彼の実兄（仏道修行の朋友）の誘いに従い別の師のもとに行くことを勧め、大成へと導くきっかけになった言葉とされています。この言葉が教えてくれるのは、人生において友人が果たす役割の重要性です。一般的に、仏道や学問などにおいては師が弟子を導くのですが、目上の人に相對すると萎縮してしまいがち。また、相手が親だと甘えが生じ、発奮するきっかけが生まれにくいでしょう。その点、同じ目標のもとで希望や葛藤を共有しながら切磋

琢磨する友人は、若者の成長を促す大きな存在です。弱い部分をさらけ出したり、相手のために全力で物事にぶつかり、そうした、対等かつ深い信頼関係を築ける真の友人を持つことが大切だと教えてくれます。例えば新入学や就職のように、子どもが新しい世界に足を踏み入れる時、親はつい手助けしたくなるものですが、まずは一歩引いて見守ることが必要でしょう。また子ども自身も、新たな道で友を見つけ、彼らと深く関わりながら自分を磨いていかなければなりません。新学期が始まって2ヶ月ほど、学生生活がいよいよ本格化する今、すべての学生と保護者のみなさんに胸にとめて欲しい言葉です。

愛知学院大学 禅研究所

愛知学院大学の建学の精神を内外に知らしめるとともに、その遡源である禅仏教の研究と実践を推進する場。禅仏教と周辺領域に関する専門研究の成果を記録し公開する「禅研究所紀要」や禅仏教の一般社会への普及をめざす「禅研だより」の刊行、学内外の碩学を招く講演会・研究会、月例の「火曜参禅会」「禅と法話の会 放光」、禅籍資料調査など、その活動は多岐に渡ります。



illustration : 児島 衣里